

令和4年 第15回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和4年10月20日

仙北市教育委員会

令和4年 第15回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和4年10月20日（木） 午後2時

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	田口 桂一郎

4 出席した事務局職員

教育部長	藤村 幸子
教育次長兼学校教育課長	鈴木 徹
教育次長兼角館公民館長	佐々木 信介
教育総務課長	湯澤 満
学校適正配置準備室長	若松 正輝
総合給食センター所長	草薨 直子
生涯学習課長	武藤 寛幸
中央公民館長	高橋 良宣
田沢湖公民館長	大石 基
市民会館長	信田 昌史
田沢湖図書館長	真崎 智明
学習資料館・イベント交流館長	松橋 幸太郎
平福記念美術館長	小松 亜希子
平福記念美術館参事	高橋 百合子

5 議事

(1) 議案審議

議案第25号 仙北市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について

(2) 報告事項

報告第25号 仙北市教育行政報告について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和4年第15回仙北市教育委員会10月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤課長補佐と上野課長補佐を任命します。署名員は、私と委員から橋本

委員を指名します。前回会議録の承認についてですが、後日、細川委員から署名をいただく予定です。

教育長挨拶ですけれども、本日は私の方から、3点報告させていただきます。

1点目がコロナウイルスの感染状況についてです。仙北市としては減少傾向にあります。子どもたちの感染は減っておりません。先週も市内小中学校で29名の感染がありました。今週は生保内小学校でクラスターが発生し、今日現在で21名の感染があり、本日から休校としました。今後も感染防止に努めるよう校長会で確認したところであります。

2点目は10月11日に行われた幼小合同研修会についてです。2年ぶりの開催でしたが、西木地区、にこにこ子ども園と西明寺小学校を会場に実施されました。当日は市内小学校と園から65名ほどの参加をいただき研修しました。教育委員会と仙北市子育て推進課、並びにはなさき仙北による共催でしたが、幼少連携の視点から、スタートカリキュラム等の視点からの話題も提供され有意義な研修となりました。次年度以降も会場を変え実施していく予定であります。

3点目が、14日に行われた秋田大学による、ふるさと実地研修についてです。秋田大学大学院生19名、教授5名が参加し、西明寺小学校を会場校として、研修が行われました。当日は特定授業として、6年生の理科の授業を担当の桑野先生と福田専門官によるTTで行いました。身近な地域の危険個所を予め児童たちがタブレットを使って画像として取り込んでおり、それを使っての授業でした。タブレットや電子黒板などICT機器を駆使しながら授業が進められました。子どもたちはタブレットをツールとして使いこなしており、併せてコロナで濃厚接触者になった子どもも、一緒に授業に参加していました。鍛えられた子どもたちで、2時間目には全クラスで授業を公開したわけですが、秋田大学の院生たちも授業に参加し、その後研修会では、西明寺小学校の授業に向かう姿勢であったり、言語活動について全校で取り組んでいることなどが褒められました。言語活動の工夫や授業については、市の今年度の共通研究テーマですので、更なる浸透を図っていきたいと思います。私からは以上です。

次に教育長の報告についてです。

－資料により説明－

ただいまの報告についてご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

－質問なし－

それでは審議案件に入ります。議案審議、議案第25号仙北市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について湯澤課長お願いします。

(湯澤教育総務課長)

議案綴の1ページをご覧ください。議案第25号仙北市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について説明させていただきます。3ページの方をご覧くださいまして、1番の点検・評価の趣旨についてですが、この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定によりまして、教育委員会の事務の管理執行状況の点検評価を行い、その結果を報告書として取りまとめ、議会に提出するとともに、公表することになっているものでございます。次に2番の点検・評価の実施についてですが、点検・評価の対象とした事務事業は4ページの上の方に記載ありまして、各課・機関が令和3年度に実施した六つの事業となっております。次に3ページの3番、点検・評価の方法につきましては、点検した6事業毎に、各課・機関が、5ページ以降にあります事務事業評価シートを作成しまして、点検・評価を行い評価委員から意見をいただいた上で、最終的な自己評価を行いました。4ページの真ん中のところですが、評価委員としまして、5番に記載されたとおり、仙北市社会教育委員の佐藤委員長さん、角館町平福記念美術館運営審議

会の米澤委員長さん、仙北市小中学校校長会の布谷校長先生の方をお願いをしました。評価委員会は10月5日に開催しまして、5ページ以降になります事務事業評価シートに基づきまして、各事業の目的、投入されたコスト、指標、今後の方向、自己評価等について各担当から説明を行った後、評価委員の方々から意見をいただいております。評価委員のご意見につきましては、各シートの最後8番に掲載をしております。評価委員の意見を踏まえまして、最終的な自己評価を行いまして、今日報告書案ということで提出させていただいているところです。この後、各担当の方から自己評価の結果等について説明をしていただきたいと思います。

(須田教育長)

それではGIGAスクール構想推進事業費について次長お願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

5ページ、6ページをご覧ください。GIGAスクール構想推進事業費についてですけれども、1番、事業の目的ですけれども、簡単に説明させていただきますと、教育ICT環境を構築することが目的です。実際の内容としましては、先ほども教育長から西明寺小での実践が報じられましたけれども、子どもたち、先生方、非常に活用が進んで、使い方のレベルも向上しております。ただ課題もありまして、6ページ6番、今後の方向等にもありますが、今後さらなる向上を図るためにも、情報学習支援員の増員が必要です。そこを委員の方々も検討していただいて、拡充ということでお願いしたいと思います。以上です。

(須田教育長)

一つずつ行いたいと思います。田口委員、このGIGAスクール構想推進事業費についてご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

(田口委員)

特にございませんけれども、国を挙げての整備、その後の機器の活用に向けたICT教育の充実というのが全国的な重要課題といえますか、重要事業だと思いますので、子どもたちの力に必要なものと思いますので、予算規模もかなりのものですので、どうか充実させていただきたいと思います。やはり情報学習支援員の増員については、先生方が実際使う時に、TT等先生方が複数入って授業を展開するわけですけれども、機器がそもそも起動しなかったり、その時に画面が映らなかったり、授業に参加するまでの機器の準備やケアが本当に大変だし、いざという時に子どもたちがスタートラインに立っていない状況、あるいは授業を進行していても、やはりリテラシーに差がありますから、一斉授業のペースについていけない子どもが必ず出てきます。そうした場合にすぐ対応できる専門的な知識を持った支援員は、出来れば授業に待機するなり、参加するなりしていただきたいわけですけれども、とても人数は現場としては足りない状況が続いていると思います。全学年一斉に授業を実施するような場面もあるわけですし、それが現在1名という状況では、各学校、その分先生方が難儀しているのではないかなと思いますので、是非その点については拡充ということでお願いできればと思います。以上です。

(須田教育長)

橋本委員お願いします。

(橋本委員)

評価の拡充ということでいいと思います。田口委員の方からもお話ありましたけれども、支援員の増員と評価委員の意見にある要保護・準要保護世帯の通信費について、これらについて、新年度の予算で要求するようにならなければいいかなと思います。以上です。

(須田教育長)

坂本委員をお願いします。

(坂本教育長職務代理人)

私も大変いい取り組みだと思いました。学校でのGIGAスクールの現状、それから家庭に持ち帰っての学習という面でも今後さらに力を入れていただきたいと思います。評価委員の意見の3つ目で、生保内中学校ではタブレットを全世帯に持ち帰らせて、効果的に活用できたとありますけれども、これが市内の全小中学校で、学校単位で差が出ないような取り組みを目指していただきたいと思います。以上です。

(須田教育長)

予算措置等についてよろしく願いいたします。次にスクールカウンセラー配置・活用事業費についてお願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

7ページ、8ページをご覧ください。スクールカウンセラー配置・活用事業についてです。目的としましては、子どもと保護者が悩みを打ち明ける場を増やすということで、カウンセリングを行う事業です。成果としましては、4番、5番で非常に件数が増えているということで、件数が増えて悩みが増えているのがいいかどうかは別にして、この事業としては活用されているというふうに思っております。6番、今後の方向等についてですけれども、今年度の8月末で、昨年度の50%の活用がありました。実は10月現在で80%以上の相談件数になっておりまして、この後まだまだ相談がどれだけ増えるのかは分かりませんが、残り、厳しい予算となっております。是非、拡充をお願いしたいと思います。尚、この後予算の方が足りなくなりますので、12月の補正予算に計上する予定であります。以上です。

(須田教育長)

これについても一人ずつお願いします。田口委員お願いします。

(田口委員)

質問ですけれども、県で行っている広域カウンセラー事業は継続されていますか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

継続されております。

(田口委員)

両方活用しておりますか。優先的にはどちらを活用していますか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

広域カウンセラーは、実は小学校を中心に県の方では活用しておりまして、中学校になると、全部にスクールカウンセラーが配置されておりますので、そちらを活用してほしいということで、緊急的な時に中学校で対応できないということで、市のカウンセラーを活用することが多いです。

(田口委員)

中学校の相談件数が増えているという認識ですか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

実は小学校も増えています。小学校も広域カウンセラーを使っているんですが、どうしても申込んでも日程調整がありまして、すぐには活用出来ない場合があります。そういった場合、やっぱり、こちらですと気軽にすぐ対応できますので、そういう意味で小学校も中学校も増えている状況です。

(田口委員)

全県の市町村の中でも、市町村単位でこうした事業を実施しているところは、かつては

仙北市だけだったわけですが、今でもかなり少ないと思います。こうしたニーズがあるということは、やはり必要であるというふうに思いますので、是非、充実させていただきたいし、速やかにニーズに対応出来るような体制を作られていくと思いますけれども、今後も継続をよろしく願いしたいと思います。以上です。

(須田教育長)

橋本委員をお願いします。

(橋本委員)

拡充ということでいいと思います。相談件数も増えているということと、いろいろな専門のカウンセラーを希望するということもあるようですので、そういう要望に応えられるような体制を作るためにも、こちらの方もまた、予算について考えていただければいいなと思います。以上です。

(須田教育長)

坂本委員をお願いします。

(坂本教育長職務代理者)

子どもたち今、いろんな悩みを抱えていると思います。子どもたちもだし、親御さんもそうだと思います。それにきめ細かに対応出来るような仕組みを作っていきたいと思います。女性のカウンセラーの希望があるということですが、今、仙北市内の男女のカウンセラーはどのくらいずつでしょうか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

5名のカウンセラーさんがおります。女性が3名の配置、男性が2名です。

(坂本教育長職務代理者)

立ち入ったことを伺いますが、地元の方はその中にいらっしゃいますか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

残念ながらいません。

(坂本委員)

地元のカウンセラーさんはいないと。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

仙北市在住の方はいません。

(坂本教育長職務代理者)

今、次長は残念ながらとおっしゃいましたが、私はそちらを希望します。というのは、知らない人だから話せることっていっぱいあると思いますので、その人がどこの誰か分からない方が、悩みを打ち明ける側としてはありがたいと思います。女性を希望するお子さんが多いのも何となく理解できるような気がします。引き続きよろしく願いいたします。

(須田教育長)

評価の方は拡充ということでよろしく願いいたします。次に情報学習支援員派遣事業費についてをお願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

9ページ、10ページをご覧ください。情報学習支援員派遣事業費です。こちら、先ほどのGIGAスクール構想と密接な関係にありまして、先ほども評価していただきましたが、必要性が非常に増しております。ただ課題としまして、6番の今後の方向等にもありますが、今11校を一人で回っている状態です。ですので、ホームページ更新業務を行うことしかできない状況でして、是非、増員を希望いたしますし、増員されることで更なるICT機器の活用ができると考えております。どうか拡充の方お願いいたします。

(須田教育長)

これについても田口委員お願いします。

(田口委員)

先ほど申し上げたとおりですけれども、これについては、国や県の補助事業の対象ではなく、市の単独事業という認識でよろしいですか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

はい。そのとおりです。

(田口委員)

これをICT事業に組み込むような枠はないんですか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

機器の方の補助金となってまして、人的配置の方には回せない状態です。

(田口委員)

拡充でお願いしたいし、予算も付けていただきたいところなんですけれども、付けていただいても、ニーズに合うような人材を採用出来るかという問題もあろうかと思えます。かなり難儀した記憶もありますので、各市町村でも、なかなか人材が見つからないというような話も聞いております。今、情報ICTに関するニーズが、一般の会社等でも高まっていると聞きますので、うまくマッチングができるかということですが、なかなか人材確保も大変かと思えますけれども、どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。

(須田教育長)

橋本委員お願いします。

(橋本委員)

拡充でよろしいと思ひます。GIGAスクールと同じですが、情報支援員の増員についてよろしくお願ひしたいと思ひます。一つ質問ですが、5番、成果指標等の(2)事業の成果を表す数値の全国学力学習・学習状況調査関連項目の中で、ICT活用率の高い割合が中学校で44%ですが、これは市内の中学校で4割位という解釈してよろしいでしょうか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

これは子どもたちが評価したものです。4月に行われた今年の全国学力学習調査でこういう質問事項がありました。令和3年度の評価を受けたもので、中学生は厳しく見ているなと思ひます。

(須田教育長)

坂本委員お願いします。

(坂本教育長職務代理者)

先ほどのGIGAスクールと関連しますが、やはり情報支援員さんについても学校間の差がでないように、どこの学校でも同じように、ホームページの更新ですとかそういった細かいことにも関わってくると思ひますので、是非拡充の方向でお願いしたいと思ひます。

(須田教育長)

3人とも拡充ということですが、よろしくお願ひします。次、地域学校協働本部事業費についてお願ひします。

(武藤生涯学習課長)

資料の11ページと12ページになります。地域学校協働本部事業の目的は資料にいっぱい書いてありますが、一番の目的は社会に開かれた教育課程の実現に取り組むということです。地域と学校が、これまではどちらかという、学校という組織と、地域というよりは個人個人のつながりと言われがちですが、この事業に関しては、学校と地域それぞれの

組織同士が、両方向の繋がりをもって、お互いに高め合っていきたいと思いますというものです。自己評価としましては、拡充にさせていただいております、この事業自体は、この事業として、今後も取り組んでいくものですが、一方でコミュニティスクールのステップという側面もあります。そういうところにうまく結びつけていくためにも、今後、より強く取り組んでいく必要があるということで、評価としては拡充とさせていただいております。以上です。

(須田教育長)

田口委員、お願いします。

(田口委員)

説明もありましたけれども、コミュニティスクールへのスムーズな移行を目指してこの事業の推進ということだと思いますし、学校現場にとっても、必要不可欠の充実が必要な事業であろうかと思えます。学校現場の働き方改革ということも叫ばれておりますので、地域の人材、地域の力をもっともっと学校に活用できるようなシステム作りには是非、拡充、充実するようお願いしたいと思います。以上です。

(須田教育長)

橋本委員お願いします。

(橋本委員)

拡充でいいと思います。市内の小中学校でコミュニティスクールを立ち上げる予定がありますので、その前段ということで、地域学校協働本部も一緒にそのコミュニティスクールに繋げるような形で、連携を取りながら進めていただければと思います。

(須田教育長)

ありがとうございます。坂本委員お願いします。

(坂本教育長職務代理者)

前のお二人の委員と全く同じです。拡充でお願いしたいと思います。

(須田教育長)

ありがとうございます。拡充ということでお願いします。次に花いっぱい運動推進事業費についてお願いします。

(高橋中央公民館長)

資料は13ページ、14ページになります。花いっぱい運動推進事業費についてご説明いたします。花いっぱい運動につきましては、西木のフラワーロード一斉植栽事業を始まりといたしまして、長く地域の皆様方に親しまれた事業でございました。平成24年以降は、花苗配布事業を全市に広げまして、植栽を希望する団体の皆様に利用されておりました。令和4年度に事業の課題等を精査し、もう一度、事業の再構築等を検討する部分で、一旦中止ということがありましたけれども、これに関しまして利用者の皆様の方から、この事業の推進希望をたくさんいただきました。地域に広まった事業ということで、私ども再確認をしていたところであります。これを踏まえまして、現在のところ、地域の皆様の公聴会的なものや、利用しておりました団体様へのアンケートなどを執り行っております。今後、ご意見等をまとめ直して、新たな事業を計画していきたいなと思っております。自己評価の条件付き継続というのは、今後コロナ前の事業量に今すぐ来年度から戻れるかといいますと、約3年程ブランクがありますので、新たな事業形態等を含めまして、徐々にというような動き出し方も検討しているところでございます。その際に規模がやや縮小になる可能性もございまして、条件付き継続と自己評価させていただきました。説明は以上です。

(須田教育長)

田口委員お願いします。

(田口委員)

非常に悩ましい事業であろうかと思えます。悩ましいというのは、残したいし、地域の強い要望も生かしたいし、やはりいい事業だったので、継続したいという思いが強いわけですが、コロナ禍だったり、高齢化だったり、予算の都合だったり、様々な課題も浮き彫りになってきているわけですので、なかなかどういう形で事業を継続するか、あるいは縮小するにしても地域の理解を得ながら、こういった形でその思いを残していくかという、そういったことを十分議論していかなければいけない事業ではないかなと思えます。縮小あるいは廃止、段階的廃止という決断に至っていないのが、ちょっと救いかなという印象を持っています。今後こういった形でこの思いをくみ取って、素晴らしい事業だったものが、残っていくのか、残していくのか。しばらく協議が必要なのかなと思えます。以上です。

(須田教育長)

橋本委員お願いします。

(橋本委員)

条件付きでも継続できるように検討していただければと思います。こちらの方に書かれてありますけれども、一斉植栽の参加者が、年々減っている状況だと思えます。そこら辺のところをどうするかというのが、一番大きな検討課題であると思えます。もう一つは花の専門家とか、そういう方の意見も聞いて、将来的にどういうスタイルでやるのがいいのか指導してもらった方がいいのかなとも思えます。花の苗の配布というのは、希望があるようですので、継続していただければと思います。以上です。

(須田教育長)

坂本委員お願いします。

(坂本教育長職務代理者)

私個人の意見としては、継続していただきたいというのが本当のところなんです。105号線を通った時に、マリーゴールドが、ずっと並んでいるのを見ると、なんかほっとして、スピード出さないで行こうかなという気にもなるかもしれません。高齢化という問題もあるかと思えますが、地域の人たちにとっても、年に一度の楽しみにしていた行事でもあったかと思えます。困難な面はあると思えますけれども、出来る限り継続を希望いたします。

(須田教育長)

条件付きでも継続ということでよろしく願いいたします。次に図書館情報システム管理運営費についてお願いします。

(松橋学習資料館・イベント交流館長)

資料は15、16ページです。図書館情報システム管理運営費についてご説明申し上げます。こちらは図書館において必要不可欠なシステムでございまして、図書の登録、利用者の登録、図書の貸出・返却業務、図書の検索等、全てにわたって図書館業務に関わりのあるシステムでございます。またこれを活用しますと、各種照会ができて、資料を作る際にもシステムを活用してすることができます。来年の5月末で現行のシステムが契約満了となりますので、さらに進化したシステムに更新していきたいと思っております。自己評価としては継続とさせていただきます。以上です。

(須田教育長)

田口委員お願いします。

(田口委員)

現状のシステムを維持するために必要な経費ということですので、是非継続をお願いし

たいと思います。利用者の利便性を図るためにも、スマートフォンから検索できたり、予約ができるようなシステムというのは、これから必須になってくると思いますので、今後の新しいシステムの切り替えの時期が一つチャンスだと思いますので、継続ということですけれども、その切り替えの際にシステムの導入も考慮して、予算要求等するなりしていただければありがたいと思います。以上です。

(須田教育長)

橋本委員をお願いします。

(橋本委員)

現在は継続だと思いますけれども、将来的にスマートフォンの読み取りとかそういうものをやらなければならない、求められる。そういった場合は、拡充ということで考えていかなければならないのではないかと思います。以上です。

(須田教育長)

坂本委員をお願いします。

(坂本教育長職務代理者)

必要なシステムだと思います。継続でお願いしたいと思います。以上です。

(須田教育長)

ということでよろしくをお願いします。湯澤課長、何かありますか。

(湯澤教育総務課長)

委員の皆様からいただいたご意見をこの後加味しながら、最終的な報告書をまとめさせていただきます。

(須田教育長)

それでは報告事項に入ります。報告第25号仙北市教育行政報告についてをお願いします。

(藤村部長)

令和4年第7回仙北市議会臨時会が10月31日に予定されておりますが、その開会にあたり教育行政報告について概要をご説明いたします。大変申し訳ありませんが、資料の訂正のお願いがございます。報告20ページ、3行目に9月24日、26日とありますが、24日は削除となります。26日のみでございます。また、その下の7行目に、24日とございますが、こちらは、10月14日に訂正をお願いいたします。大変申し訳ありません。

それでは最初に学校教育課の方から報告です。ジャベリックスロー秋田県選手選考競技会の結果についてです。ジャベリックスローとはジャベリックという機具を投げる競技で、高校以上のやり投げに通じるものですが、第53回アンダー16陸上競技大会の秋田県選手選考競技会が、8月に県営陸上競技場で開催されましたが、女子の部において、神代中学校2年の石川才稀さんが優勝され、10月23日の愛媛県の大会に出場権を獲得されました。次に私の主張2022秋田県大会の結果についてです。9月20日に土崎中学校で開催された大会に、神代中学校3年高田菜花さんと、西明寺中学校3年戸澤悠稀さんが出場し、それぞれ受賞されました。最優秀賞の高田さんは、秋田県代表として、北海道・東北ブロックのビデオ審査に進出しております。次に大曲仙北中学校新人総合体育大会についてです。大曲仙北中学校新人総合体育大会が9月に開催され、男子バスケットボール、女子バスケットボールでは、角館中学校がアベック優勝。柔道の団体戦では、男子で神代中学校が第2位。剣道の団体戦では、男子で角館中学校が第2位となっております。

次に北浦教育文化研究所からです。言語活動を充実するためのICT機器の活用についてです。「話し合いを通して多様な考えに触れ、自分の考えを広め、深めていく」ことが重視されておりますが、仙北市では「言語活動の充実」を教育の重点としています。言語活

動の充実とICTの利活用は密接に結びついており、この利点を生かした授業の研究などが進められています。この「先進的な授業提示」を西明寺小学校で9月26日に行われたこと。10月14日には、秋田大学院生の訪問があり、院生や秋田大学の教授から指導・講評をいただき、今後の研究・研修に生かしていきたいと考えています。

平福記念美術館からは、企画展「郷土の画人 三河義太郎日本画展」についてです。会期中、三河のご遺族の方もご来館くださり、義太郎作品を懐かしみながら鑑賞され、1,652人の入館者数がありました。同じく、企画展「郷土作家が描くいきものたち」についてです。10月3日から開催されております、平福穂庵・百穂父子を中心に、いきものをテーマとした日本画作品が展示されております。会期は11月13日までとなっておりますので、是非ご鑑賞ください。本日の説明では、未来日でのものもありますが、議会での報告時、10月31日の予定日には、過去形で報告する項目もありますのでご承知おき願います。私からは以上となります。

(須田教育長)

ではその他に入ります。いじめ、不登校対策について願います。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

9月のいじめ、不登校対策について報告いたします。最初にいじめについてです。4月12件、5月16件、6月24件、7月16件、8月7件、9月は7件でした。

続きまして、9月の不登校児童生徒についてお知らせいたします。小学生3名、中学生14名、計17名となっております。先月から3名増加しております。以上、9月のいじめ、不登校の状況でした。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について願います。

(湯澤教育総務課長)

別添の第13回教育委員会8月定例会の会議録を見ていただきたいと思います。

－資料により説明－

誤字脱字等、お気づきの点などありましたら、私の方まで教えて下さるようお願いいたします。以上です。

(須田教育長)

その他、何かありますか。

(橋本委員)

先ほどの行政報告で、新人戦の結果について報告ありましたけれども、個人戦でも3位以内に入賞している人がいると思います。本文に入れるのが難しいとすれば、別紙でもいいので報告していただきたいと思います。もう一つ、団体に桜木内中学校の男子卓球部が3位になっています。確認して入れていただければと思います。

(須田教育長)

よろしく願います。坂本委員願います。

(坂本教育長職務代理者)

私も行政報告の新人戦のところなんです、アベック優勝という言葉にちょっと違和感を覚えまして、男女共にとか、別の言い方にしていただけないでしょうか。

(須田教育長)

よろしく願います。湯澤課長願います。

(湯澤教育総務課長)

私の方からもう一つ、来月の会議の日程、時間帯のことについてですけれども、来月第

3木曜日ということで、11月17日、木曜日をお願いしたいのですが、時間の方なんです、学校適正配置の関係で、皆様にお諮り、ご報告したいことがありまして、午後1時30分から、教育委員会協議会という形で関係職員と協議会を開会させていただきまして、1時半から2時半くらいまで、だいたい1時間くらいかと思えますけれども、協議会が終了した後に、定例会という形で開催をお願いしたいと思います。11月17日、木曜日、午後1時半から協議会ということをお願いしたいと思います。

(須田教育長)

若松室長、内容等についてお願いします。

(若松学校適正配置準備室長)

内容についてですけれども、今、市民アンケートを実施しているところです。その集計を11月の中旬を目途にまとめたいなと思っておりまして、その報告と併せて、年度末までに策定する学校適正配置方針の骨組み、骨子の部分を提示して協議させていただきたいと考えております。以上です。

(須田教育長)

よろしく願いいたします。その他よろしいでしょうか。

これで令和4年第15回仙北市教育委員会定例会を終わります。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後2時50分)